

平成26年度一般財団法人富山勤労総合福祉センター事業計画

1 運営方針

平成26年度の日本経済は景気回復に向けた動きが感じられるものの、消費税率引上げ等により、先行きが不透明な状況である。

このことから、当財団を取り巻く経営環境は今後とも厳しい状況が続くと予想されるため、各施設においては独立採算制を基本に、徹底したコストの削減を行う一方、それぞれの施設の特色を生かした魅力ある事業の展開や真心のこもったサービスを提供し集客の向上に努める。

また、平成27年3月の北陸新幹線開業に伴う新たな顧客確保に向けた準備に取り組む。

(1) 呉羽ハイツ

景気の低迷から減少傾向にあった利用状況も徐々にではあるが回復する兆しをみせているが、依然厳しい経営環境のもと、「行ってみたい、来てみて良かった」と感じられる施設になるよう

- ① 魅力ある施設環境を盛り込んだ特色ある企画作り
- ② 地元的新鲜食材を活かした美味しい料理の提供
- ③ 「おもてなしの心」を基本とした質の高い接客サービスの提供
- ④ 北陸新幹線開業に向けての企画開発

等を行う。

(2) とやま自遊館

平成23年度に策定した「とやま自遊館経営改善計画」の4年目の目標達成に向け、引き続き売上の増と経費の節減に努める。

また、リフレッシュプラザにおいては、公益目的事業として、引き続き勤労者をはじめとする県民の健康増進のための事業等に取り組む。

さらに、「ヤングジョブとやま」については、若者の就業支援に係る企画運営業務を引き続き国及び県から受託し、若者の雇用確保に積極的に取り組む。

また、「とやまシニア専門人材バンク」に係る企画運営、普及啓発業務を受託し、高齢者の就業支援等を行う。

2 重点実施事項

(1) 呉羽ハイツ

① 利用率の向上

- ア. 施設を取り巻く歴史や環境を紹介するコーナー「おやまものがたり」（仮称）を新設し施設のイメージアップを図る
- イ. 県内産の新鮮食材を含めた季節ごとの特別料理企画を実施するとともに、引き続き好評な法要会食に力を注ぎ誘客に努める
- ウ. 平日対策として各種企画を実施し誘客に努める
 - (1) 老人会及び企業研修を対象とした平日宿泊企画や休憩、入浴、お食事をセットにした日帰りプランの実施
 - (2) レディース企画として女子会プラン（限定）を実施して女性客の誘客を図る

② 利用者へのサービスの向上

- ア. 施設設備を充実し、常に利用しやすく安全な施設環境を提供する
- イ. お盆や年末年始を中心に各種イベント（夏祭り・呉羽梨サービス・年越しそば・餅つき大会等）を実施する

③ 職員研修

- ア. フロント員をはじめ応接職員を各種研修会に参加させ、利用者へのサービス向上を図る
- イ. 調理師の技術向上を図るため料理研修会への参加
- ウ. 定期的に火災訓練を実施するとともに職員の防火意識を高める

(2) とやま自遊館

① 利用増に向けた誘客・広報活動

- ア. オープン以来開設しているビアホールについては、新たなイベントなど魅力的な企画を実施し、誘客に努める。
- イ. 景気の影響が少ない祝事、法要宴会等の受注に努める。特に法要については平日の割引サービスを行うなど、受注拡大のためセールスを行う。
- ウ. 引き続き商品券を販売し売上を確保するとともに、予約獲得を目指す。
- エ. 週末に比べ利用の少ない月～木曜日や閑散期の誘客策として、お得なプランを企画・提供することにより利用増を図る。
- オ. 北陸新幹線開通に向けて、県外客向けにホームページ等において自遊館の良さを積極的にアピールし、インターネットによる宿泊予約を推進し客室稼働率の向上に努める。
- カ. 新聞、ラジオ、専門雑誌等の媒体を利用した広告を行うとともに、季刊誌（ちゃお）を刷新するなどの広報活動を展開する。

② おもてなしの心が実感できるサービスの提供

- ア 職員研修等を通じ、お客様本位のサービスに徹する職員意識の高揚を図る。
- イ 富山の食材を使った越中料理や自遊館の特色である和洋折衷料理などお客様のニーズに合った多彩なメニューを企画・提供する。
- ウ シーズン割引プラン、宴会付割引プランなど利用しやすい宿泊プランを提供する。
- エ 県内著名作家による絵画・書の作品展等を開催する。

③ 健康増進に係る事業の実施

- ア 県内医療機関と連携した健康づくりサポート（運動療法、メディカルフィットネス、リハビリ支援等）を実施するとともに、生活習慣病の防止・改善や介護予防等を目的とした運動プログラムの提供を行う。
- イ 他の施設との差別化を図るため、指定運動療法施設としてのメリットを生かした事業を展開し、新たな利用者ニーズの掘り起こしを図る。
- ウ 入会キャンペーンを行い、入会金の割引や継続時の特典を付けることにより、入会者の増加と退会者の減少を図る。

④ 経営改善への取り組み

- ア 25年度の経営改善の実績を踏まえ、経営改善計画のローリングを行う。
- イ 経営改善計画の達成に向けて、しっかりとした進行管理を行う。

⑤ 職業教育、職業相談等の提供

ア ヤングジョブとやま

若者の就職に関する情報提供やカウンセリング、セミナー、トレーニング、職場見学、職場体験等を行う。

イ とやまシニア専門人材バンク

就労を希望する専門的知識・技術等を有する高齢者を対象とする人材バンクを設置し、高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援する。

3 利用人員等目標

(1) 呉羽ハイツ

平成 26 年度は、利用人員 150,600 人（前年目標対比 101.2%）、営業収入 7 億 4,500 万円（前年目標対比 100.7%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 26 年度 目標人員 a	平成 25 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	16,000	16,000 (15,100)	0
宿 泊	25,700	25,800 (24,400)	▲100
宴 会	45,000	43,600 (44,600)	1,400
休 憩	19,800	19,130 (21,100)	670
レストラン	12,500	12,500 (12,100)	0
喫茶・売店	27,700	27,800 (26,700)	▲100
そ の 他	3,900	3,920 (3,500)	▲20
合 計	150,600	148,750 (147,500)	1,850

(2) とやま自遊館

平成 26 年度は、利用人員 331,400 人（前年目標対比 99.8%）、営業収入 7 億 1,451 万円（前年目標対比 97.1%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 26 年度 目標人員 a	平成 25 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	12,500	13,000 (11,300)	▲500
宿 泊	10,600	10,300 (9,700)	300
宴 会	27,500	29,000 (26,000)	▲1,500
レストラン	88,000	89,000 (85,000)	▲1,000
ホ ー ル	47,500	49,000 (44,000)	▲1,500
リフレッシュラザ	116,800	118,000 (115,500)	▲1,200
マガジヨとやま	25,000	21,000 (24,600)	4,000
シニア人材バンク	1,600	1,000 (1,500)	600
そ の 他	1,900	1,600 (1,900)	300
合 計	331,400	331,900 (319,500)	▲500